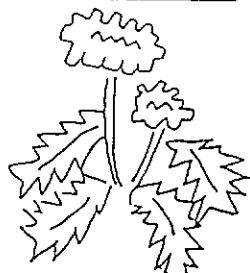


たんぽぽ

NO 185
H14年11月1日
-発行-
〒869-1217
熊本県菊池郡
大津町森54-2
社会福祉法人
三気の会
三気の里
☎096-293-8100



流行

今、日本全国TEACCHの大流行です。

田中稔

二十五年近く、自閉症の療育の流行を見続けてきました。自閉症の歴史は何々療法の歴史でもあります。

今、TEACCHを言っている人が二十年前何を言っていたか。「子供のすることを全てあるがまま、なすがまま受け入れなさい。そうすれば心の窓が開いて自閉症は治ります。」

十年前何を言っていたか。「感覚統合こそ正しい療育法です。」今何を言っているか。「TEACCHこそ唯一の療育法です。」

同じ人が二十年間に、こうしてその時その時の流行を専門家として話してきたのです。この人を信じられますか。

こうして自称、偉い先生が外国で、東京で、何々療法がいい、何々療法が流行っているという度に、それに振り回されてきた歴史でもあります。

今、TEACCHでやれている程度のことを、「子育て」の中でやってきたお母さんは大勢います。それを後から偉い先生が「構造化」と言おうが、TEACCHと言おうが、私たちはズーッと以前からやってきたことです。

私たちも、TEACCH的な考え方を療育の中に取り入れていきます。その場合の前提は二つあります。一つは課題指導の前提となる、子供の基本的な能力の伸びに注目すること。一つはTEACCHに子供を合わせないこと。子供に合った課題を工夫すること。

真の療育者は、流行に囚われずに自分の信じることを、コ

ツコツやり続けている、無名人達のように思います。どんな療育法も、やり続けるかどうかです。

親は療育のパートナーであり、療育者です。親には三十年近い子育ての歴史があります。

親には自分たちが血と汗と涙で切り開いた、子育ての歴史があります。

親は療育者として、流行に振り回される事なく、自分たちで踏み固めてきた道に、もつと誇りと自信を持ってよいと思えます。

自閉症の療育に関わる人は、こうした子育ての経験を持つ親たちの厳しい目に耐えられる人であってほしいと思います。『「自閉」・発達障害児と共に』より)

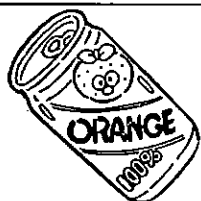
《田中施設長が亡くなられて

から四年が経ちます。およそ十年前に書かれた文章を掲載しました。

真剣に仕事に取り組みほかに田中先生の偉大さを感じます。能力的には勿論のこと情熱においてもこえることはできないと当たり前のことですが痛感します。毎年この時期、田中先生が書かれた冊子『我が子、新一と共に』と『「自閉」・発達障害児と共に』を読み返します。一年ごとに言われていることが理解できるようになりました。そして、打ちのめされたような気持ちになります。先見の明に驚かされ、揺るぎない信念を少しづつ実感として感じ取れるようになり、一歩目を切り開いていく苦労がどんなにたいへんかわかるようになりました。

いつまでも、永遠に三気の里、三気の家を見守り続けて下さい。十月二十六日の命日にさいして

三気の里 施設長 松田



班にゅーす



3班・宿泊レクレーション

今年の宿レクは保護者参加で大分方面に行きました。1日目、日田のサッポロビール工場ではビールの試飲をして、カズアキさんが泣き上戸だという事が判明しました。別府のホテルの温泉ではマコさんがメチャクチャ喜んでいました。夕食の宴会ではアキコさんが無類のカラオケ好きだという事が分かりました。夜は、園ではいつも爆睡している何人かがほとんど寝ませんでした。2日目の湯布院観光、散策ではゴウさんが買物の達人だという事が分かりました。(お釣りまで完璧に分かっていました。) 3日目、香りの博物館ではみんなとても静かに昼食をとりました。

楽しめた人、そうでなかった人といいましたが、その他にも普段見ることができない様々な発見がいっぱいありました。みんなにとっても私にとってもいい経験でした。

高橋

1班・職人の誕生!

今回の主役は、はにかむ笑顔がとても素敵なたつやさんです。最近のたつやさんといえば、プラスチック製品の組み立てや分解の作業にこれまで以上に熱がこもっており「できました!」の爽やかな声が作業棟にいつも響き渡っています。1年前は作業時間の半分も椅子に座っていられなかったのに、今は時間一杯作業に取り組むことができ、製品の仕上がりも丁寧さが増してきたは明らかです。

さて、そんなたつやさんは最近、バイクのブレーキの部分になる金属の組み立て作業に初挑戦!!すでに班内には“職人技!”と思わせるような手つきでこの作業に取り組む数名の利用者がいますが、たつやさんもそろそろ仲間に入れるのでは?と思い、挑戦してみることにしました。ちょうど、1班の作業に入っていた実習生と共にマンツーマンで取り組むことになったのですが、なんと!1時間あまりで上手に仕上げるできるようになったのです。一緒に取り組んでくれた実習生の熱意とたつやさんの頑張りに拍手!これで、たつやさんも職人の仲間入り。やったね!

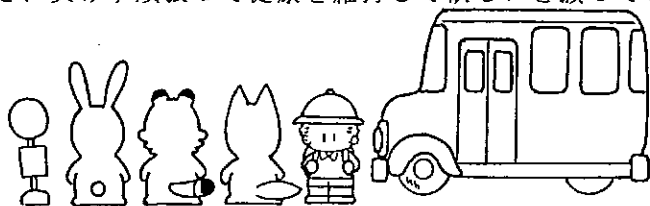
平山

6班・健康でいてください!

少しずつ寒さが感じられるようになり、もう冬だなあ~と思うと何だか寂しい気がしてきます。体調を崩しやすい時期でもありますが、皆様体調の方はよろしいでしょうか?

6班のメンバーは元気であることがなによりであり、一番の目標は病気をしないことだと思っています。作業を頑張ることは勿論ですが、行事やレクリエーションに参加できて楽しめるのも健康であるからだと思います。私は今頃になって改めて健康であることの大切さを感じています。病気をいかに早期発見できるか、ということがとても大切なことなのです。元気な顔が見れることが一番の安心です。これから先、益々寒くなり衣服の調節が難しくなってきます。肌着を少し厚くしたり、首元から冷えないようにハイネックになっている服を中に着る、お風呂上がり体に冷えないようにする等の援助を的確に行っていかなければならないと感じています。今年も寒さに負けず頑張って健康を維持して欲しいと願っています。

出牛



5 班・水族館行ったね！

10/16(水)～/18(金)の2泊3日で、5班園芸班は待ちに待った宿泊レクリエーションに行ってきました。行き先はというと7月下旬から8月にかけて5班の利用者の人達にリサーチした結果、沖縄県、大分県の他候補地を退け堂々の1位に輝いた福岡方面に決まりました。当日は、準備よし！着替えよし！天候よし！で見送りの人達に笑顔で手を振って出発しました。1日目マリンワールドでは時間の関係で到着してすぐにイルカのショーを見ました。ニコニコ顔で見ていた人、昼食の時間を過ぎていてお腹がすいてイライラ気味だった人、何ヶ月も前から「水族館行きたいね！」と楽しみにしていた人。反応は様々でした。隣りの海浜公園に移動してからは、グループ行動で乗り物の好きな人、そうでない人、レンタサイクルで楽しんだ人とそれぞれでした。陽治さんのゴーカートのハンドリングの素晴らしさ？は皆さんにも見せたいくらいでした。1泊目のホテルは中心街に近かったこともあり夜間外出し「ラーメンを食べに行こう！」を合言葉に博多駅の地下街に繰り出し、夜の博多を体験してきました。念願の夢？が叶った博さんでした。2日目はグループ行動。キャナルシティ組とクルージング組に分かれ、都会派と豪華客船？派に分かれての行動でした。地下鉄も体験しました。3日目は小石原焼きでてびねり体験をしてきたので1～2ヶ月後に届く皆の作品が楽しみです。紙面の都合で詳しくお伝えできないのが残念なくらい楽しい旅行でした。当日体調を崩して一緒に参加できなかった荒川さんが残念でしたが、また作業頑張っ、皆で色んな所に出かけようね。 木下

2 班・宿レク 1ヶ月前の心境！

朝夕すっかり肌寒い毎日になりましたね。先日夜帰宅途中に、生まれて初めて流れ星を見た私、寒さを忘れて車の窓を全開にし星空を見つけていました。こんな一瞬の感動に幸せを感じ、信じられないような一瞬の奇跡の体験でした。

さて2班は10月に入り宿レク1ヶ月前ということもあり、なんだか旅行気分が高まってきている今日この頃です。旅行先は沖縄！さっそく旅行雑誌を買ってきてくれた伊石さん、井島指導員。皆で交互に雑誌を見ながら、気分をより高め心トキメかせています。初飛行機になるだろう泰貴さん。ちょっと怖がりな為心配はしていますが、皆ついているから大丈夫ですよ。なんでもチャレンジ、飛行機に乗れたらまた一歩前進です！ドキドキワクワクな気持ちあり、ちょっと緊張あり、来月は“めんそーれ沖縄”だよ！ 江藤

4 班・一歩前へ

10月の太陽も、風も、自然の風景も、冬がもうすぐそこまで近くにやってくることを感じさせます。皆様はいかがお過ごしでしょうか。今回は給料にもつながる重たいお話をさせて頂きたいと思えます。先月号でも記載しましたが西原村に野菜を置かせてもらうことになり職員も販売の厳しさと喜びを知ることになりました。今まで利用者の帰宅に合わせて保護者を買って頂いていた野菜。しかしそれだけでは収穫の時期を外し使い物のならなかったものが、今は収穫時期に野菜の販売をすることができています。1日目100円を出していたものが、3日目には30円になっていることもあります。

(お店では3日間で完売させる方法をとっています)そこに厳しさがあり、意味があるのだと思えます。9月分の野菜の収入代を5000円頂きました。予想を反して多いと感じたのは私だけでしょうか？中原さんも、久美さんも喜んでいました。たったこれだけと思われるかもしれませんが、今、一歩、遅い一歩を踏み出したのです。今後に期待しつつ…。

赤星さんよりネギを、元田さんより一文字を、井口さんから野菜の種を頂きました。この場をかりてお礼申し上げます。ありがとうございました。 上野

療育雑記

「仕事をすると
いう事」

大石由紀

平成14年8月26日(月)。この日は、三気の里の歴史的な日であり、利用者として一指導員である私にとっても生涯忘れる事のない大事な日となった。

「給料日」と言うには余りにも少額なものであったが、その意味は果てしなく大きい。

私が三気に就職した7年前は、一部の利用者に対し幾らかの報酬が出されていた。その時は、ただ漠然と「仕事をしているから当たり前」という認識でしかなかった。それからいつの間にか報酬は消え、もっとその認識は薄れ、「当たり前」が当たり前でなくなっていた。

一般的に、人はある年齢に達すると仕事をし、報酬を貰う。そして、その事で社会的に認められたと認識する。私自身も、初めてアルバイトをして給料を貰った時、親から自立できたような気がした。そして、それが就職して給料を貰った時は本格的に自立できたよう

に思い、自信を感じ、責任を感じた。初めて「の感覚はそれ位のものではあったが、月を重ねるごとに、それによる仕事へのやりがいを感じるようになり、やがてそれが生きがいへと繋がっていった。彼らと関わる中でよく耳にする言葉の中に「生きがい」という言葉がある。施設に入所し、毎日仕事や訓練に明け暮れる毎日の中で彼らの生きがいとは何か？。

指導員は繰り返し考える。しかし、繰り返し考えた中から生まれてきた事は「生きがいと言える余暇活動を見つけれ」であった。

本来、余暇は人から見つけてもらうものではなく自分で作り上げていくものである。ただ、彼らに関して、ある程度周りがそのヒントを与えたり、援助する必要がある。もちろん、それも重要な支援の一つである。では、一般的に余暇活動を生きがいとして、生きる支えとして生活している人がどれだけの人がいるだろうか。

前述したように、私は仕事で給料を貰い社会に認められた事で自分の生きがいを感じた。それは社会的に例外ではなく、誰しもそう

であるように思う。例え、それが自分の天職と言えるものではなく生きていく為の手段だとしても、生きる支えである事に違いはない。そして、人は誰かに認められる事で自信を得て本来の力を発揮していく事ができるもので、ただ漠然と生活する中でも、そういう事が大きな支えになっているのであるように思う。そう考えると、彼らの生きがいや生きる支えが何か、何が必要なのか理解できる気がする。

彼らが施設で生活する中で、色々な場面で「褒められる」事が多々ある。意図的にそういう場面を多く作り、褒められる事で自信を持つてもらい、力が発揮されていくように援助する事は多くある。では、そういう経験の繰り返しで「生きがい」は生まれるのだろうか。やはり、具体的な形をもってその理解は深まり、生きがいへの認識が生まれるのではないのだろうか。

平成14年8月26日。三気ですべて利用者全員へ給料が支給された。初めて、彼らが労働した事が具体的な形によつて認められ、

評価を受けた。給料が全てではないが、その持つ意味は大きい。初給料をもらった皆は、それぞれの家庭で様々な評価を受けた。仏壇に上げて先祖に報告した人や、兄弟・親戚から驚かれ、尊敬された人がいた。些細な事かもしれない。しかし、これほど重要な事は無い。給料を貰った事によつて社会的に認められた事が彼らの人生に与えた影響は大きい。

私は基本的に仕事人間ではないが、仕事が好きである事は間違いない。そして、仕事によつて支えられている。

今後、彼らの生きがいや仕事によつて生まれ、支えられていくとすれば、今以上に充実した作業を提供する事が私たちの責務であり、それを理解した上で自分自身と照らし合わせながら、彼らの人生の一片を一緒に刻んでいく必要があるように思う。

8月26日。初給料を貰い「仕事人としての仕事」が評価されたみんなは、自信に満ちた顔を見せた。その後姿のたくましさは私たちに喜びを覚えた。そして、忘れられていた「当たり前」を私たち

に教えてくれた。これからは、も
っともっとたくましい皆に出会え
るよう一緒に歩んでいきたいと思
う。



事務だより

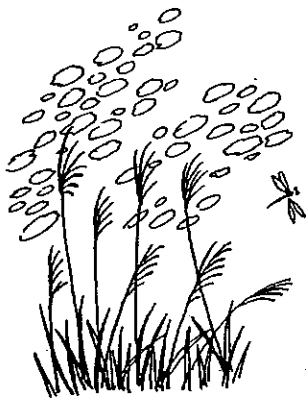
秋の日に

落ち葉舞うなりわが心

落ち葉が、風に舞い空の色もど
んよりとした日が増え冬が近づい
ているのを感じる今日この頃です
が、お風邪などひいていらつしや
いませんか？今年もあと二ヶ月。
事務所にとっては、今から春にか
けて徐々に忙しくなります。年末
調整の時期も近づきました。生命
保険料等の証明書などそろそろ準
備をお願いします。

今から事務所は、新会計基準や
支援費制度にむかって、進んでい
きます。

橋口



地域交流支援科

開園園祭近況！

15周年開園祭まであとわずか
各職員、毎日遅くまで残って準備
を着々と進めています。順調なパ
ート、遅れ気味のパート様々です
が、何とか本番までには...という
所です。また、ボランテニア、協
賛、保護者など園外の方に沢山の
ご協力を頂いています。私達だけ
では決して成功させることができ
ない行事です。まことにもって有
り難い事です。



高橋

就労ケア科だより

さんさん工房に通い始めて、2
ヶ月が過ぎようとしています。毎
朝の利用者の方もいなく、毎朝
張り切って出かけています。パイ
クの電装作りも、だんだん手早く
なり、納品の数も増えていき、お
給料も毎月昇給できています。皆
の仕事に対する集中力は「すごい」
の一言です。最近はお昼ご飯の
後の食器洗いも当番を決めて、洗
ってもらっています。家ではし
たことがないと言っていた荒毛さ
んも上手に出来ています。これか

いろいろなことを覚えて自立でき
るようにならばりましょう。大橋

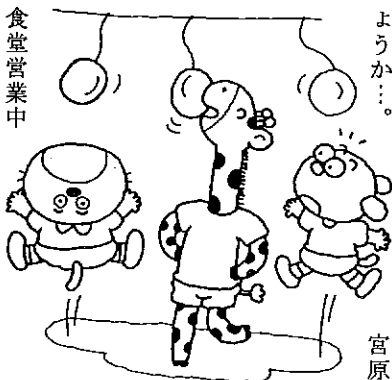
運動会

紅葉も色付き始め、山々も秋の
装いになり、秋本番です。

秋といえば、スポーツの秋。去
る、9月28日土曜日、三気の里
でも、運動会が行われました。今
年も家族の方々にも参加してい
た、8種類の競技にチャレンジ
しています。その中にも、今年
例年になく400メートル競争が
追加されました。今までない長
距離走でしたが、沢山の参加があ
り、皆いつもと違った真剣な顔が
見られました。応援も盛り上がり、
大成功！誰一人くじけることなく
完走しました。一等賞には賞状と
トロフィーが授与され、本当に嬉
しそうな笑顔が見られました。



はもっともっと、楽しく、皆の真
剣な顔が見られるのではないでし
ようか...
宮原



食堂営業中

先日、秋の恒例行事である登山
に行ってきました。

各グループに分かれ、それぞれの
目的地に向け登り始めましたが、
いきなり急な坂で利用者の方はき
つい表情を見せながらも頑張つて
登りきりました。最初の坂を登る
とその後は壮大な景色が広がり、
風が気持ち良く、紅葉も楽しむこ
とが出来ました。怪我もなく無事
に登山は終了しましたが、私は日
頃の運動不足を実感した一日でし
た。

案の定、翌日から筋肉痛になり
ました。トホホ...
恵良



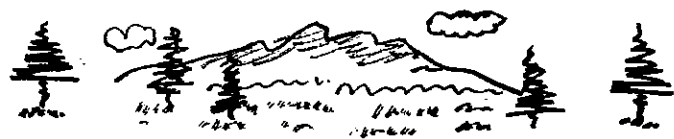
登山

「秋の日の山登り」

山道を登りながら皆何を思ったのだろう。空が青く高かったとか、道端のリンドウの花がきれいに咲いていたとか、紅葉が随分と進んで色鮮やかであったとか……。一步一步険しい岩場等を登っている時も、そんなことに気を止める余裕が皆にもあったのだろうか。

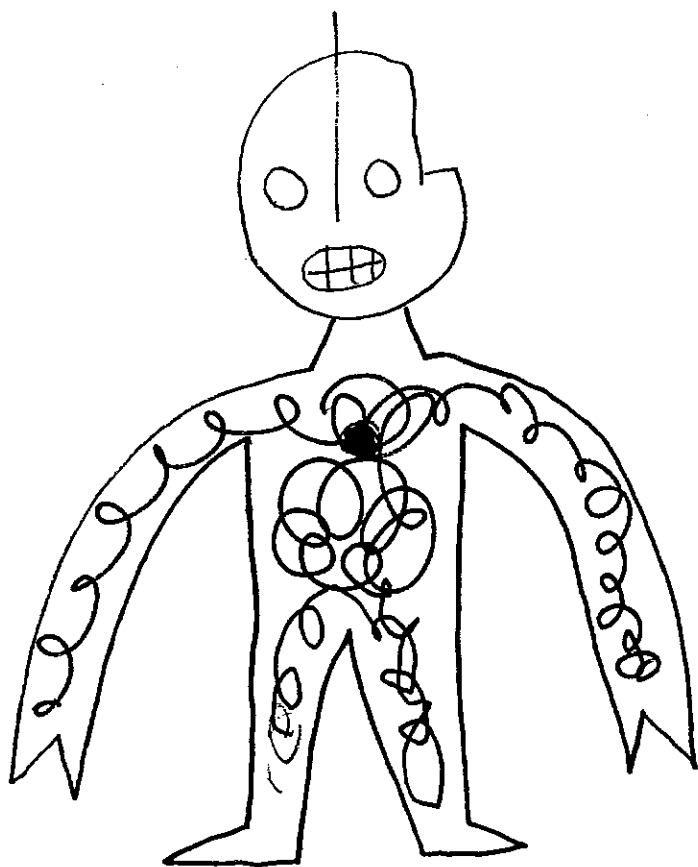
以前「見て、人間て素晴らしいね。こんなに高いところまで、自分の足一本で歩いてきたんだけん。」久住山頂の雄大な景色を眺めながらの一言があった。この話をした若い指導員は、今はいないがそんな気持ちと同じ登山係りとして伝えていきたいという気持ちが強かった。どこまで伝わっただろうか。皆にとつてベストのルートだったかわからない。ただ山頂近くに広がる御池のほとりで、一斉にお弁当を食べている皆の姿からは、疲れてはいるがどこか満足そうで、言葉からではないが人や自然の素晴らしさが伝わっているような気がした。「また一緒に登ろう！」と声をかけたら、今度は笑顔が返ってくるに違いない。

坂本

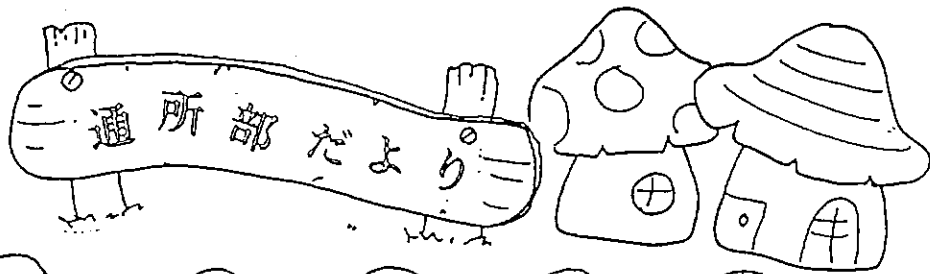


ウルトラマン

のんま
こんま
げんま



この絵は、一目瞭然！ウルトラマンでございます。夜、入浴も終わり、居室でゆっくりしていた森川さんを突撃訪問したところ、快く了解を戴きました。ペンをとるや否や、すらすらと鼻歌交じりで書き始めました。横で見ているだけでこれはっ！正義の味方ウルトラマンではないですか！そういえば最近、音楽クラブで、皆の前でウルトラマンのテーマ曲を上手に歌い上げたとの話も聞きました。これは熱烈なウルトラマンファンとにらみました。世間でも、懐かしのアニメヒーローのフィギュアなどを目にすると同時に、それをコレクションとする人達が増えているそうです。幼少のころのヒーローは大人になっても永遠のヒーローなのでしょう。満面の笑みで渡して下さいました。



通所部の面々

今まで、通所部の作業内容やレクリエーション等をお知らせしてきましたが、とてもユニークで個性豊かな通所部メンバー。全体をひっくるめての紹介だけではもつたないと思ひ、今月からメンバーを連載して紹介していきたいと思ひます。

平成十一年。通所部の開所と同時に入ってきた坂田さんは、当時に閉じこもりがちでした。その為、通所部に通うことが目標だったようです。それから3年間、前任の指導員とのやり取りの中で、毎日通所部に通う生活のリズムがついてきました。4年目の今年、給料を貰う事を励みに、意欲的に作業に取り組み、自分からは休む事もなくなりました。「意欲」というものが、これほど身体的にも精神的にも人に力を与えてくれるものかと実感しています。特に今年は、運動会で利用者を代表して、選手宣誓の大役を果たしました。これまで単語程度でのやり取りでしか話せなかった坂田君でしたので、お母さんも私達も涙が出る程感激しました。これからも、色ん

な事に自信を持って、頑張ってくれる事だと思ひています。

坂田君の次に入ってきたのが、赤星くん。今年で、3年目になります。通所部に来る前までは、人と関わりを持つ事がほとんどなく、自傷の絶えない毎日だったそうです。3年目の今でも、まだまだやり取りは難しいものの、動作法や作業・食事・散歩など、一日の生活の中で少しずつ私達の存在を意識してくれるようになりました。今では、朝礼で名前を呼ばれると一番元気に返事を返してくれます。また、お母さんと一緒に歯磨きの練習や手つなぎで手の緩めを練習するようになりました。まだ、色んな事を始めたばかりですが、頑張り屋のお母さんに支えられて、確実に成長を見せてくれています。幾つになっても成長を見せてくれる事を実感する毎日です。

伊豆野

後援会募集のご案内

三気の里では、後援会を募集しています。御入会頂いた方には、毎月発行している機関紙「たんぽぽ」をお送り致します。

振振りい込み先

口座番号

0197018114902

社会福祉法人 三気の会後援会

保護者会代表 魚谷 秀文 宛

住所

熊本県菊池郡大津町森54-2

一口 3千円

団体は、一万円より



三気の里メールアドレス紹介

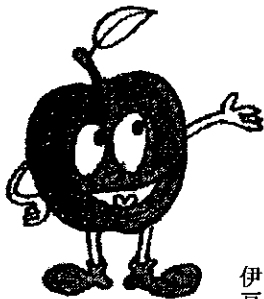
三気の里についてのご意見、要望その他何でも結構ですのでぜひメールをお送り下さい。

皆様の声をお待ちしております。

URL [http://www7.ocn.ne.jp/~](http://www7.ocn.ne.jp/~sanki)

sanki

E-mail sanki@siren.ocn.ne.jp



11月の行事予定

月	火	水	木	金	土	日	備考
	総 後二さん・有働さん・藤本さん・米田さん・魚谷さんお誕生日おめでとう! 興 9日 開園祭、◎ 17日 4R白川、孝 19日 交流会、◎ 21日 誕生会 園 23日 帰宅バス			1	2	3 加 文化の日	
4 加 振替休日	5	6	7	8	9 有働さんの誕生日(61) 興 開園祭	10	
後二さんの誕生日(36)							
11	12 藤本さんの誕生日(35)	13	14	15	16	17	
						◎ 4R白川	
18	19 孝 交流会	20	21 興 誕生会	22	23 加 勤労感謝の日 園 帰宅バス	24	
25	26	27	28	29 米田さんの誕生日(27) 園 2班宿レク	30 魚谷さんの誕生日(34)		



ボランティア通信

運動会のボランティアありがとうございました。運動会も終わり、冬の気配も近くなり、寒くなつて来ておりますが、今年もまだまだ行事が盛り沢山あります。開園祭にもちつき大会と楽しい行事がありますので、皆さん三気の里へ遊びに来てくださいます。

(ボランティアありがとうございます)

* 生け花 西村 栄子

* 除草作業 永吉 ゆり

* ピアノ演奏 井川マリ子

* 運動会ボランティア

小崎 亜希子 田中 知美

佐藤 香織 西田 美花

内藤 瑛美 大田黒貴英

光永 忠文 角 俊哉

小森田 有美 倉本 達明

宮本 和幸 新 香織

園田 真紀 磯部 武志

敬称略

後援会ありがとうございます

北島 和子 麻生 博之

塘岡 玲子 篠崎 三雄

赤坂 政紀 家人 憲隆

阿蘇品慶伸 浦中 公明

平川ミサ子・義利

稲葉千代子 木村産業 (敬称略)

10月出張・研修報告

・ 9月29日

認知発達研修

出張者 木佐貫

・ 10月17日～18日

自閉症者施設連絡協議会

出張者 田邊・石井

編集後記

今月のたんぼぼ編集はいつもの編集に増して大忙し…。なぜかというと…今月号から三気の里のたんぼぼもついにワープロからパソコンへ移行!

本来であればパソコンに変わりが編集はスムーズにいくはずなのにパソコンに慣れていない編集員(私も含めて…)は四苦八苦!

最初のページが出来上がってきた時はわぁーと歓声があがったほどでした。しかし、出来栄はまだまだです。これからもっとパソコンの勉強をして皆さんに親しみやすい「たんぼぼ」つくりを努めていきたいと思っています。メールアドレスも掲載していますのでご意見、ご感想をお待ちしております。

石井